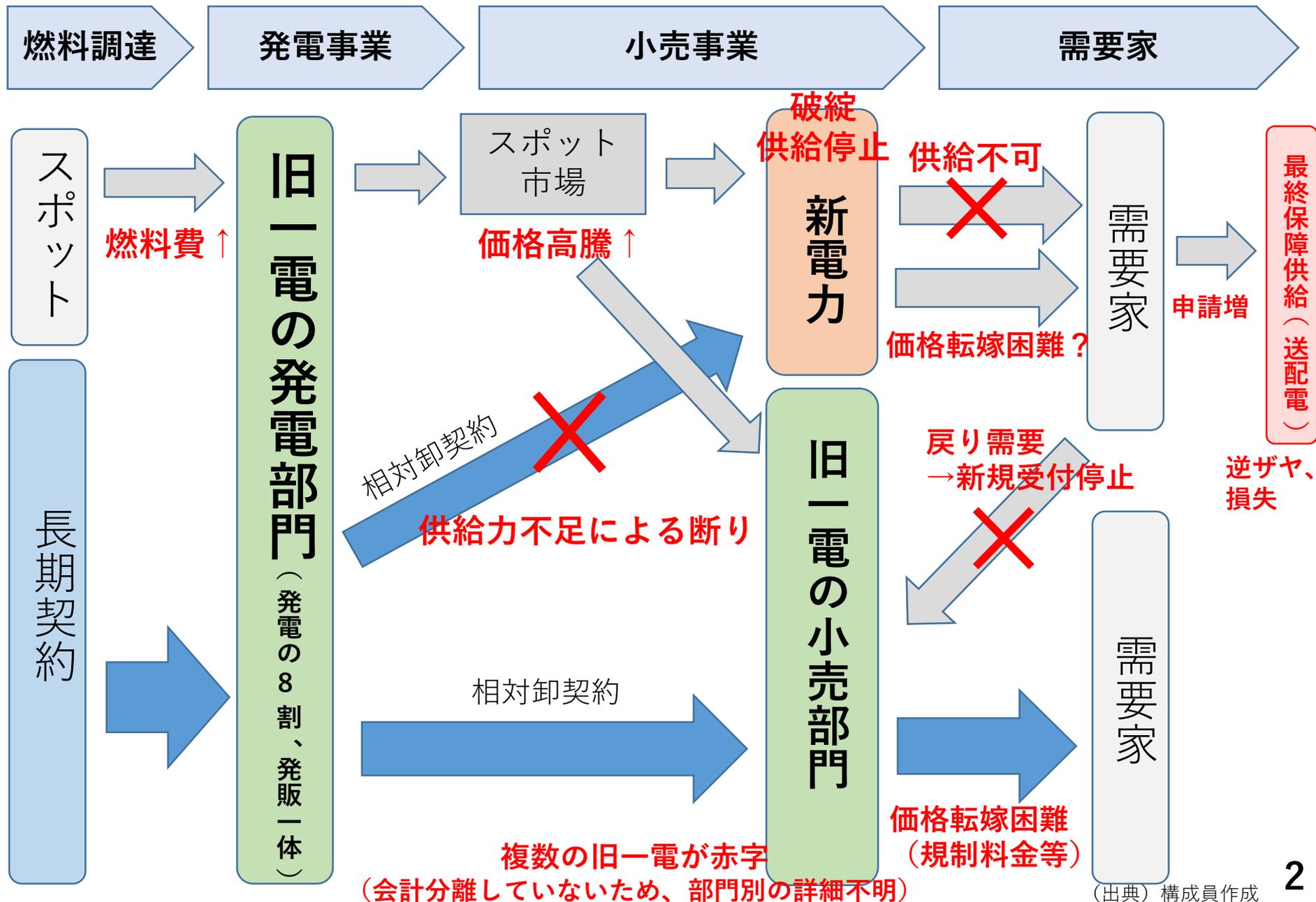
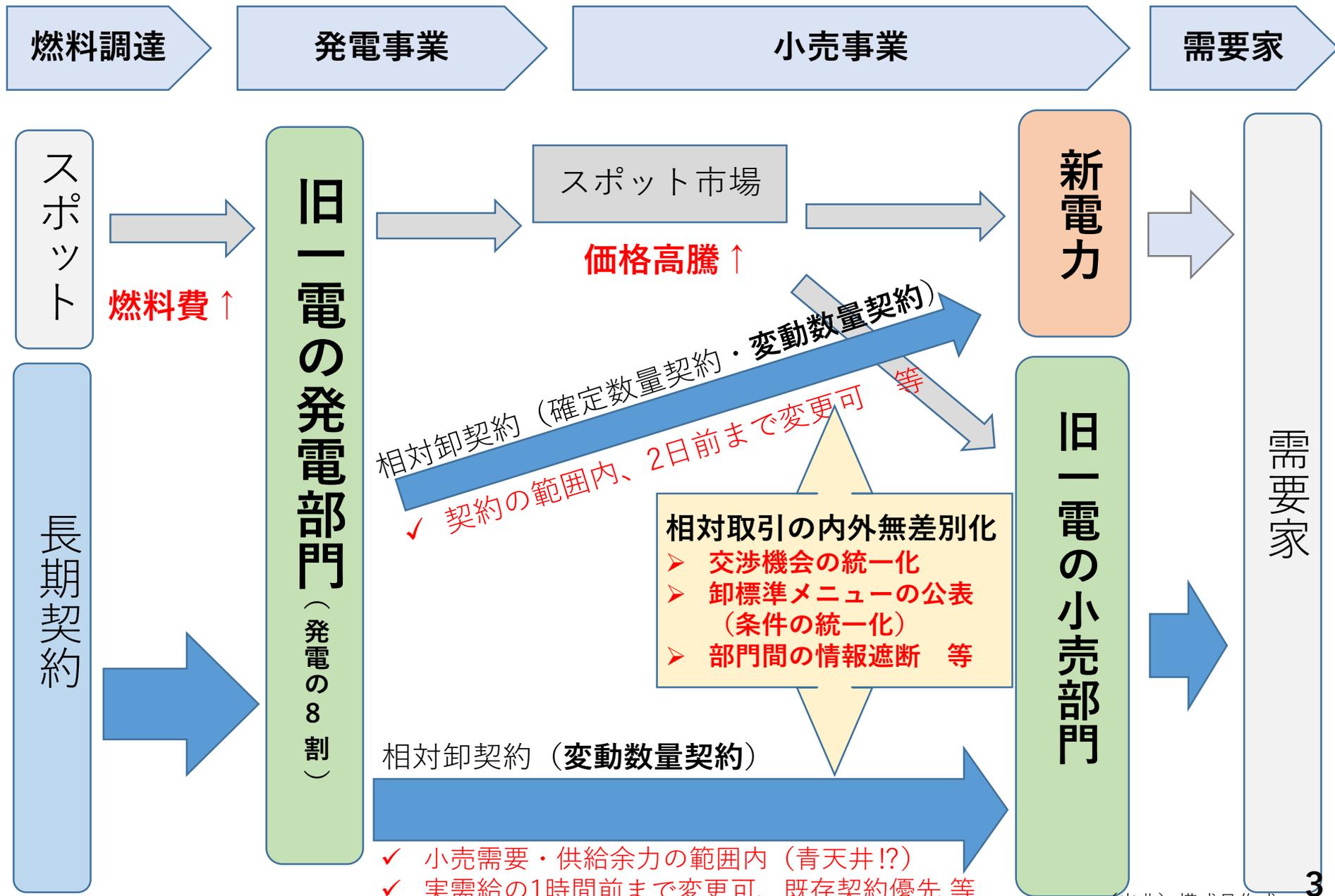


構成員提言の 参考資料集

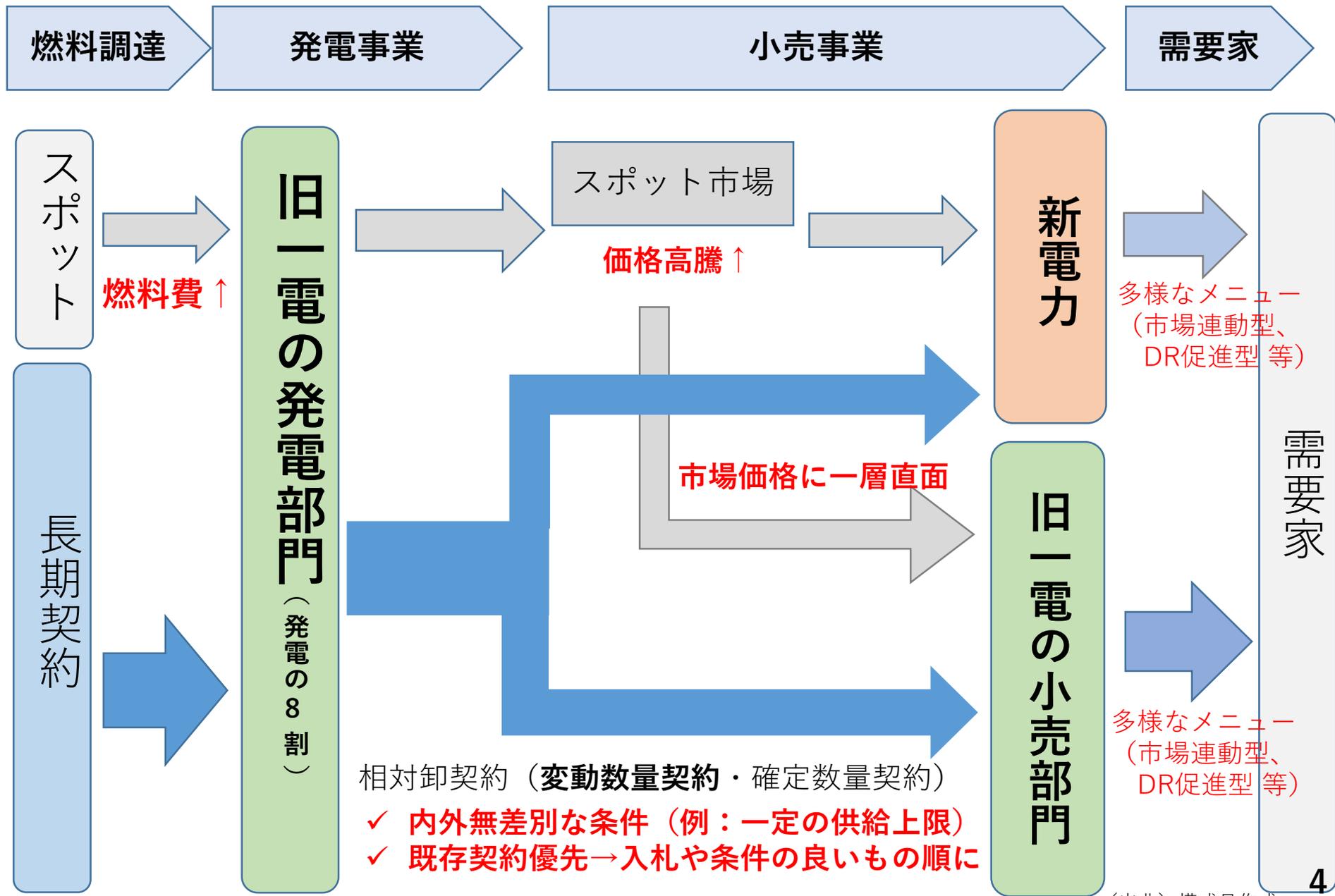
小売事業や需要家を取り巻く足元の状況（現状のイメージ）



電力卸取引のグループ内外無差別性の確保① (現状のイメージ)



電力卸取引のグループ内外無差別性の確保② (今後のあるべき姿のイメージ)



電気の契約状況（全国）

2022年2月分

| 区分 | 電圧 | 契約口数 (件) | 燃料費調整の上限 | セーフティネット |
|------------------------|------|-------------|-------------------|------------------|
| 自由料金（※1） | 特別高圧 | 11,326 | 小売事業者ごとに異なる | 最終保障供給（一般送配電事業者） |
| | 高圧 | 843,780 | | |
| | 低圧 | 40,613,987 | | |
| 規制料金（※2） （みなし小売事業者） | 低圧 | 47,648,551 | 上限あり（基準燃料価格の1.5倍） | — |

※1：「適正な電力取引についての指針」において、大手電力会社が標準的な小売料金メニュー（標準メニュー）を公表することが、公正かつ有効な競争の観点から望ましい行為とされており、大手電力会社は標準メニューを公表している。

※2：2016年4月に小売が全面自由化されたが、「規制なき独占」に陥ることを防ぐため、低圧需要家向けの小売規制料金について経過措置を講じ、現時点では、全国すべての地域において、従来と同様の規制料金（経過措置料金）が存続。

 現在、電力難民の問題が発生している範囲